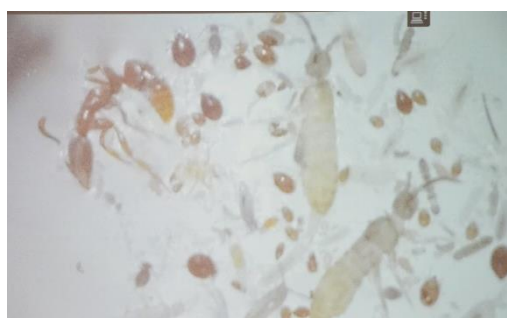


2020年度理系チャレンジ講座（第5回）を実施しました

10月21日（水）に理工学部の永野昌博先生を講師に迎え、「地球を支える土の中の動物たち」というテーマで、理系チャレンジ講座の第5回を実施しました。遠隔配信した安心院、竹田、三重総合、別府翔青、臼杵、大分鶴崎、大分西、大分雄城台、国東、中津南、日田、来学受講した由布、大分東明の13校146名が受講しました。

先生はまず、採取したばかりの土壌動物の映像をリアルタイムで見せながら、土壌動物の実態について説明してくださ



いました。また、代表的な土壌動物の写真を、豆知識を添えながら紹介してくださいました。

次に、土壌動物の「生態系における役割」について説明されました。土壌動物は①落ち葉を粉碎する、②科学的に分解する、③土を耕す、④水を貯える、⑤炭素を貯えるという5つの役割を持つ

ており、生態系において欠かせない存在であることが分かりました。

最後に、土壌動物研究の最前線について4つに分けて紹介されました。1つ目は土壌動物における「食物連鎖」の研究、2つ目は土壌動物と植物の生産力の関連性など「農業」に関する研究、3つ目は土壌動物を調べることで環境の良し悪しを見る

「環境指標」に関する研究、4つ目は新種の発見など「生物多様性」に関する研究ということでした。講義の中で永野先生は、高校生のうちに一生懸命勉強することの大切さや、高校生の皆に新種の土壌動物を見つけていただきたいというメッセージを発信されていました。



授業後に実施したアンケートでは「総合的に判断して授業がよかった」（100%「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計。以下同じ）、「教員は真剣に取り組んでいた」（99%）、「受講生は授業に意欲的に取り組んでいた」（98%）という結果でした。遠隔配信については、「音声はよく聞こえた」（94%）、「映像はよく見えた」（95%）という結果が出ました。